



令和元年 10 月 26 日

担当課	総務企画課
担当者	丹生・卯辰
電話	(073) 488-5109
内線	

3 類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市外在住 30歳代 男性
届出年月日	令和元年10月24日
経過	10月19日（土）腹痛・水様性下痢・血便 10月20日（日）医療機関受診・入院 10月24日（木）便検査の結果 O157 ベロ毒素（+）と判明 主治医より届出 現在、医療機関にて入院加療中ですが、症状は快方に向かっています。

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 乳児 女性
届出年月日	令和元年10月25日
経過	10月21日（月）下痢・嘔吐 医療機関受診 10月23日（木）発熱・血便 10月25日（金）便検査の結果 O157 ベロ毒素（+）と判明 主治医より届出があり入院 現在、医療機関にて入院加療中ですが、症状は快方に向かっています。

上記2例の疫学的な関連は現在、確認できていません。
プライバシーの保護については、十分なお配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

令和元年10月26日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
令和元年	6名	18名（6名無症状者含む）	本患者含む
平成30年	4名（1名無症状者含む）	17名（3名無症状者含む）	
平成29年	5名（1名無症状者含む）	10名（2名無症状者含む）	

- ・腸管出血性大腸菌感染症は、年間を通じて発生する感染症です。
- ・調理の前や食事前、また排便後などには、十分に手洗いをしてください。
- ・食品を十分に加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきる等の注意が大切です。
- ・特に、生肉又は加熱不十分な食肉を食べないようにしてください。
- ・小さなお子さんや高齢者は、感染した場合、発病しやすいので注意が必要です。
- ・腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

*本件についての問い合わせは、本日14時00分までとさせていただきます。